

いずみ  
泉



南予地方局農村整備課

## 1. 生き物教室の概要（がいよう）

開催日時：平成27年6月30日（火） 9：00～12：00

開催場所：愛媛県鬼北町大字岩谷

講師：愛媛大学 農学部 日鷹 一雅 准教授  
おさかな館館長 津村 英志 館長

参加者：鬼北町立泉小学校 3・4・5年生 16名  
先生 4名  
地元 10名  
南予地方局 農村整備課 4名  
鬼北町役場建設課 3名  
水士里ネット愛媛 4名



## 2. 地区の概要（がいよう）

鬼北町は、愛媛県西南部に位置し、町の中央を四万十川の支流広見川が流れ、西は宇和島市、東は高知県に接し周囲を1,000m級の山々に囲まれた中山間地域で、農林業を基幹産業としています。

泉地区は、広見川沿の平野部に位置し、南西に南予地方最高峰の高月山（1,229）を遠景に見ることができる自然豊かな農村地域です。縄文時代（約3,000年前）の祭祀遺構と思われる岩谷遺跡（小学校の西側）や、弥生時代の環濠集落跡である興野々寺山遺跡などの貴重な歴史遺産が発掘されたり、人形浄瑠璃「鬼北文楽」や、江戸時代（約400年前）から伝わる丈夫な和紙「泉貨紙」などの伝統文化を保存継承する地域でもあり、大規模なハウス栽培などを行う「鬼北町農業公社」や、栗・ユズ・柿等の栽培実証を行う「愛媛県産業振興課鬼北農業指導班」の農業施設等もあります。

泉小学校は、広見川中流域のほとりにあり、このような歴史・自然・文化の地域資源を教育活動に取り入れて「小さくても光り輝く学校」を目指し、特色ある学校づくりを進めています。



### 3. 生き物教室の内容

今回の生き物教室は、学校のみならず、6月上旬に黒米や赤米、もち米の田植えを行った小学校西側にある田んぼと、広見川の上流の「興野々井堰」から取水した水が流れる水路の2箇所で、生き物を採集しました。



#### ○開会のあいさつ（農村整備課 越智室長）

今日は、ふるさと水辺の生き物教室をとおして、みなさんの住んでいる地域の生き物を調査する事で、生き物についてしっかりと理解し、自然を守る事の大切さや自然と共存する事の大切さを学んでほしいと思います。どんな所にどんな生き物が住んでいるのかを調べて、自分の目でしっかりと観察して色々な事を発見して下さい。

また、生き物が住んでいる田んぼや水路は、どんな役割があるのか考えて、農業と自然の関わりについても勉強してほしいと思います。小学生のみならず怪我の無いように、熱中症にも気を付けて、田んぼ、水路の生き物と自然と触れ合いながら楽しく調査をしましょう。



#### ○行定校長先生のお話

今日は、ふるさと水辺の生き物教室を行います。皆さんが住んでいる泉地区は、たいへん自然に囲まれた環境の良い所です。その中で、みなさんは色々な生き物に接していると思いますが、今日はその生き物をしっかりと観察して、生き物を大切にする気持ちや自然を大事にする気持ちを、これまで以上に育ててもらいたいと思います。

みなさんの周りを見てもらうとたくさんの大人の方々がいて、みなさんの勉強を助けてくれています。一緒に勉強して下さいます。感謝の気持ちを持って、半日ですがしっかりと勉強をしましょう。



## ○生き物の捕り方説明（おさかな館 津村館長）

みんな、普段から田んぼによく行って色々な虫を見ていると思いますが、じっくり見ていると普段気が付かないような小さい虫がいっぱいいると思います。そういう虫を探してみてください。

葉っぱの上にいる虫は、稲には当てないように網で葉っぱの上の所を撫でてやると、虫が網の中に入って来ます。田んぼの畔は壊れやすいので、気を付けて行って下さい。

水路で魚を捕る時は、網を持って追いかけると魚は逃げてしまうので、チームを組んで挟み込みましょう。水路の幅に合わせて数人が並び網を構えて下流側で待っています。上流の人が、わ〜っと追いかけて下流の人の網の所まで魚を追い込んで、網をぽんと合わせて魚を捕る、追い込み漁をします。

虫かごは、水の中にいる生き物と、陸にいる生き物とで別々の入れ物に入れましょう。陸の昆虫が溺れてしまったり、水中の昆虫が死んでしまうとかわいそうなので、注意してあげましょう。



## ○生き物採集

津村館長からの生き物の捕り方説明があった後、児童達は網や虫かごを両手に元気よく生き物採集を始めました。

まずは、田んぼの生き物採集からです。地元の方も手伝ってくれて、普段は気が付かないような小さな虫や、草陰に隠れている虫にも興味をもって採集するよう心がけました。

田んぼの周辺では、イトトンボの仲間やハラビロトンボ、ロケットムシとして知られているミイデラゴミムシのほか、水中では、ミスカマキリやヒメガムシ、コシマゲンゴロウなどの水生昆虫を採集しました。又マガエルやトノサマガエルなどのカエルも多く見つけることができました。

